

森議員

自治体などでは一般職員、臨時職員で区別されていますが、現在の臨時職員の人数、また、全体の何%になるのか、そして、今後の展開は。

賃金は参考適用基準単価表があるようですが、どのようにして賃金を決めているのか、賃金の見直し、また、他町との比較は。

仁田総務課長

町費支弁教員等、及び短時間勤務の方を除くと、31人です。特別職を除く一般職員は74人で合計105人。割合は29・5%となります。来年度は地域おこし協力隊員を募集予定しておりますが、減員する部署もありますので、今後増えていくこととはないと考えています。

給料につきましては、一般職員が使用しています給料表を基に決定しています。額の見直しは、26年度増額を予定しています。他町と比較しまして、他町の年間の収入額と同じになるよう額を決めています。

議会の動き

(3月)

7日 第1回定例町議会

～11日

(4月)

7日 広報編集委員会

(5月)

16日 徳島県町村議会議員研修会 (勝浦町)

24日 全国「みどりの愛護」のつどい (鳴門市)

27日 町村議会議長・副議長研修会

～29日 及び要望活動 (東京都)



市宇ヶ丘学園ふれあい給食試食会

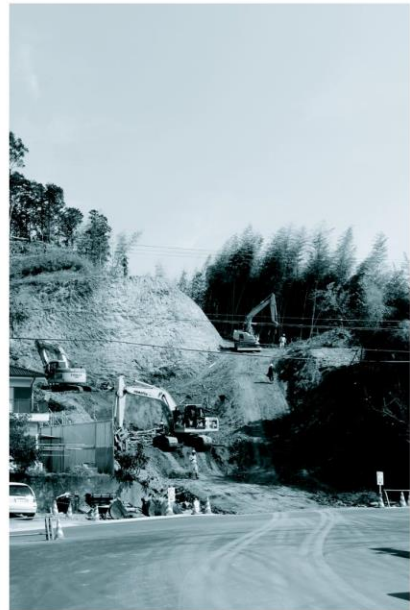
編集後記

はやいもので、東日本大震災から3年が過ぎました。被害があまりにも大きく、広範囲だったこともあり、復興は徐々に進んでいるものの、住民のみなさんが普段の生活を取り戻すまでには至っていません。特に福島第一原発では、未だに汚染水処理に追われる日々で、周辺自治体のみなさんは、ふる里に帰れる目途も立たない状況です。

私たちは、あの震災から何を学んだでしょうか。「大地震があれば、何を

お気軽に皆さんのご意見
ご感想をお寄せください。
電話 七二一三〇二一
FAX 七二一七二一六
「広報編集委員会」まで
お願いします。

おいてもはやく高台に逃げる」ということではなかったでしょうか。本町では、保育所・小学校の移転、避難路の整備、食料の備蓄など、防災対策を進めています。が、「天災は忘れたころにやってくる」と言います。私たち一人ひとりも、その日に備えた準備だけは、しっかりとっておきましょう。



着工された海部病院移転に伴う工事